

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-519591(P2005-519591A)

【公表日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2003-557511(P2003-557511)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 P 21/00

A 6 1 K 38/22

A 6 1 P 17/14

【F I】

C 1 2 P 21/00 H

A 6 1 P 17/14

A 6 1 K 37/24

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月18日(2004.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)含脂肪細胞、前駆含脂肪細胞、または含脂肪細胞と前駆含脂肪細胞との混合物を含む細胞の集団を得ること；

(b)該細胞の集団を培養すること；および

(c)該培養物から育毛を促進する因子を回収することを含む、育毛を促進する因子の作製方法。

【請求項2】

前記培養ステップの前に、前記細胞集団中の前駆含脂肪細胞を、含脂肪細胞に分化させることをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

(a)育毛を必要とする皮膚領域を有する被験体を識別すること；および

(b)該領域に、含脂肪細胞または前駆含脂肪細胞により生成される育毛因子と同一の単離型育毛因子を含む組成物を適用することを含む、育毛促進方法。

【請求項4】

(a)育毛を必要とする皮膚領域を有する被験体を識別すること；および

(b)該領域に、含脂肪細胞、前駆含脂肪細胞、または含脂肪細胞と前駆含脂肪細胞との混合物を含む組成物を適用することを含む、育毛促進方法。

【請求項5】

(a)含脂肪細胞または前駆含脂肪細胞により生成される育毛因子と同一の育毛因子；および

(b)製薬上許容可能な担体を含む、組成物。

【請求項6】

毛包を、含脂肪細胞または前駆含脂肪細胞により生成される育毛因子と同一の単離型育毛因子と接触させることを含む、育毛促進方法。

【請求項 7】

前記接触が *in vitro* で行われる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記毛包が、哺乳動物被験体の皮膚中にある、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記哺乳動物被験体がヒトである、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記皮膚が、ヒトの頭皮上にある、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記接触させることが、前記単離型育毛因子を含む組成物を前記被験体に適用することを含む、請求項 8 に記載の方法。